

〔高知県津野町の「地域ICT利活用モデル構築事業」概要〕

高知県津野町では、社会福祉協議会、民生委員、消防団、町等による「安心・安全ネットワーク会議」を発足させ、高齢者世帯見守りのための台帳や地図情報の作成、地域の助け合いの仕組みづくりなどを考える座談会を開催してきています。

平成19年度から「地域ICT利活用モデル構築事業」を実施し、紙媒体データの手作業による管理から、ICTを利活用した「見守り・助け合い支援システム」を開発・活用し、各支援機関相互間で必要な情報を共有することにより、地域住民がともに見守り、助け合うまちづくりを行っています。

【地域の見守り・助け合い活動へのICT利活用モデル事業イメージ】

